



次期下水道中期経営プランの骨子（案）について

札幌市建設局下水道河川部

平成21年度 札幌市営企業調査審議会

第3回下水道部会（H22. 2. 23）

審議概要の確認

現在の下水道事業中期経営プラン

(平成19～23年度)



○さまざまな課題への対応

- ・下水道施設の老朽化 ・災害対策
- ・合流改善の必要性 ・厳しい財政状況
- ・大雨による浸水被害防止 等

○現行の下水道使用料金を維持

- ・限られた財源の中で事業を厳選



5年間の事業計画、財政計画を策定

現在の下水道事業中期経営プラン

(平成19～23年度)

◆事業計画

- ①衛生的で快適な生活の確保・維持
施設の維持管理、施設の改築更新 等
- ②暮らしの安全と安心の確保
雨水対策、地震対策 等
- ③うるおいと安らぎのある街の実現
合流式下水道の改善、水質保全 等
- ④循環型社会の構築と環境負荷の低減
汚泥の処理・処分、有効利用、雪対策
省資源・省エネルギー 等

➡ 予定通り進捗

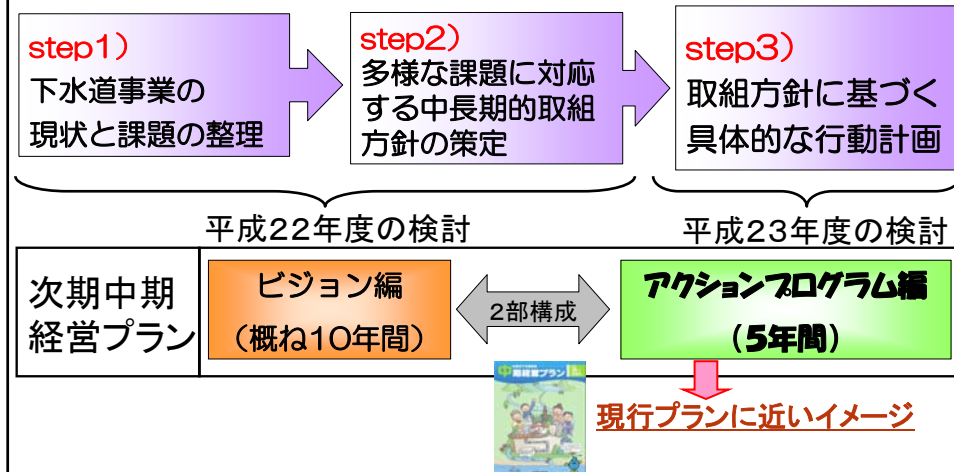
◆財政計画

中期財政見通し (収入支出の見通し)

➡ 使用料収入の減収
一般会計の財政悪化

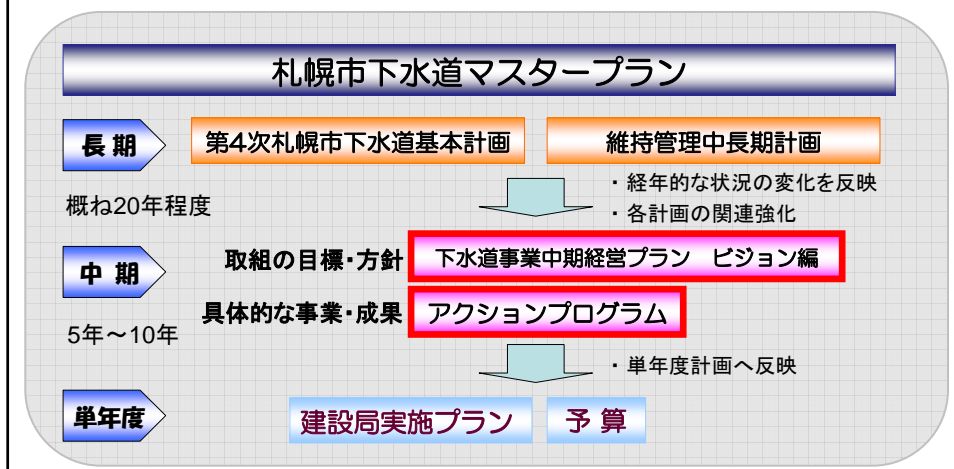
次期プランの策定に向けて

- 現在のプランは平成23年度までの計画
- 平成22・23年度の2カ年でプランの見直し作業



「ビジョン」と「アクションプログラム」の位置づけ

限られた予算の中で、効果的・効率的に下水道経営を行なうために、**札幌市長が定める計画**



プランの策定について

【策定の主体】

札幌市建設局
内部プロジェクト

審議

市営企業調査審議会部会

- ・専門的視点
- ・経営的視点
- ・利用者視点

札幌市役所内部
「企画調整会議」

意見

下水道モニター

- ・利用者視点

パブリックコメント

- ・幅広い市民目線

【決定】

札幌市長

札幌市の下水道事業の現状と課題（1）

（平成21年度 第3回札幌市営企業調査審議会で説明）

汚水処理

H21年度末で普及率99.7%を達成しており、今後、大模な拡張整備はなく、将来的にも現状の水処理能力で十分。

改 築

- ◆ 近い将来に昭和40年代に集中的に整備した施設の改築時期に備え、計画的な改築が必要。
- ◆ 水再生プラザ本体の改築手法の検討が必要。

札幌市の下水道事業の現状と課題（2）

（平成21年度 第3回札幌市営企業調査審議会で説明）

雨水対策

- ◆ 局地的豪雨が増えているなか、雨水拡充管の整備も十分とは言えない。（整備率60%）

拡充管の整備に加え、市民・企業・行政が協働で雨水流出抑制を行なう仕組みづくりも必要。

地震対策

- ◆ 地震による下水道施設の損壊は、社会活動に多大な影響を及ぼす。地震による被害を抑えるために、今後も耐震化や汚泥圧送管の二条化・ループ化を進める必要がある。

（汚泥圧送管二条化・ループ化率 66.5%）

札幌市の下水道事業の現状と課題（3）

（平成21年度 第3回札幌市営企業調査審議会で説明）

水質改善

- ◆ 合流式下水道の改善対策が不十分、今後も対策を進める必要がある。（対策率 32.9 %）

なお、河川への汚濁負荷が全国的な課題となり、下水道法施行令により合流式下水道の改善が義務付けられた。

環境対策

- ◆ 運転の工夫による省エネは限界に近い、省エネ設備の導入も必要。
- ◆ 汚泥のコンポスト化はH25に廃止、新たな有効利用策の検討が必要。

札幌市の下水道事業の現状と課題（4）

（平成21年度 第3回札幌市営企業調査審議会で説明）

財政状況

- ◆ 過去の施設建設の際に発行した企業債残高は、3,000億円以上、今後も多額の債務を返還していく必要がある。
- ◆ 節水意識の高まりや長引く不況の影響により、下水道使用料収入の落ち込みが大きい。
- ◆ 税収の落ち込みにより、雨水分の公費を負担する一般会計も厳しい財政状況にある。
- ◆ 事業量の見直しなど、効率的な事業運営に努めているものの、収入の減少に伴い、資金残高は減少していく見通し。

平成21年度 第3回札幌市営企業調査審議会 下水道部会における主な意見

- 【雨水】 ・ 河川との連携
 - ・ 浸水対策の進捗状況(マップなど)
- 【改築】 ・ 老朽管調査、改築・更新事業の見込み
- 【環境】 ・ CO2削減への対策及びその費用
- 【財源】 ・ 料金制度の累進性についての見直し
 - ・ 近隣市町村との連携による集約処理
 - ・ 下水道技術の有償提供
- 【広報】 ・ 下水道の経営努力のPR
 - ・ ライフラインとしての下水道の必要性・重要性のPR
 - ・ 事業の優先度の明示



次期下水道中期経営プラン骨子案について



名 称

- ・ビジョン編とアクションプログラム編を明確に区別する。
- ・計画完了年を明確に示す。

「札幌市下水道ビジョン2020」

計画期間 平成23年度～32年度

「札幌市下水道事業中期経営プラン2015」

計画期間 平成23年度～27年度



札幌市下水道ビジョンの骨子案について



目次構成

はじめに

第Ⅰ章 下水道ビジョン策定の目的と位置づけ

第Ⅱ章 札幌市の下水道の現状と課題

第Ⅲ章 札幌市の下水道の使命と役割

第Ⅳ章 施策の柱

第Ⅴ章 進行管理

参考資料

第I章 札幌市下水道ビジョンの位置づけ

札幌市下水道マスタープラン

— 「次世代を見据えて」 —

- ◆ 整備マスタープラン
- ◆ 管理マスタープラン
- ◆ 財政マスタープラン

第4次札幌市下水道基本計画

維持管理中期計画

経年的な状況の変化を反映
各計画の関連を強化

札幌市下水道ビジョン2020

札幌市下水道中期経営プラン2015

札幌市下水道マスタープランの理念のもと、
国や北海道地方のビジョンとの整合を図る。

【下水道政策研究委員会】

下水道ビジョン2100

下水道から「循環のみち」へ100年の計

下水道中期ビジョン

「循環のみち」の実現に向けた10年間の取り組み

【北海道開発局・北海道・札幌市】

北の大地を支える持続可能な下水道
— 北海道地方下水道ビジョン —

整合

第II章 札幌市の下水道の現状と課題

厳しさを増す財政状況

下水道資産の増大

- ・ 適切な維持管理の継続
- ・ 本格的な改築時期への備え

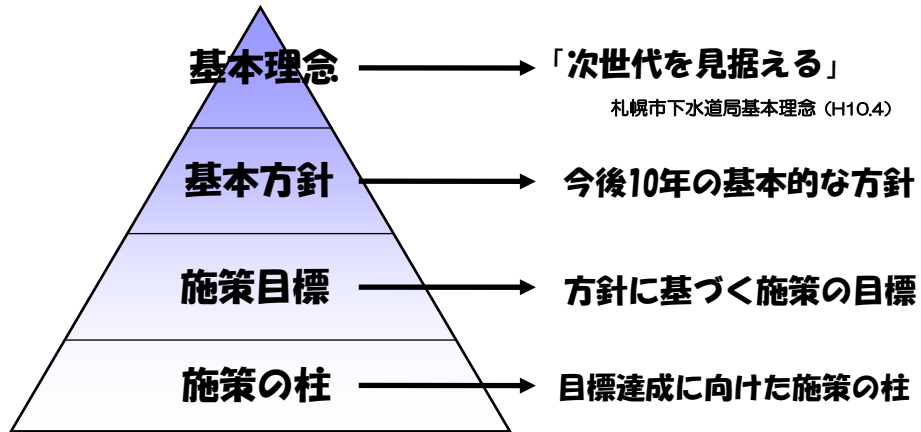
下水道機能の向上

- ・ 浸水・地震への備え
- ・ 河川の水質改善

環境負荷の低減

- ・ 下水道資源の利用
- ・ 地球温暖化対策への貢献

第Ⅲ章 札幌市の下水道の使命と役割



※ 「施策の柱」は第Ⅳ章で記載。

基本方針

札幌市の下水道における現状と課題を踏まえ、以下の3本柱を「基本方針」とする。

1. 安全で安心な市民生活を維持します。
2. 良好な地球環境の創出に寄与します。
3. 健全で持続可能な経営を目指します。

施策目標

1 安全で安心な市民生活を維持します。

- ◆ 下水道機能の維持
- ◆ 災害に強い下水道の実現

2 良好な地球環境の創出に寄与します。

- ◆ 清らかな水環境の保全と創出
- ◆ 環境負荷の低減

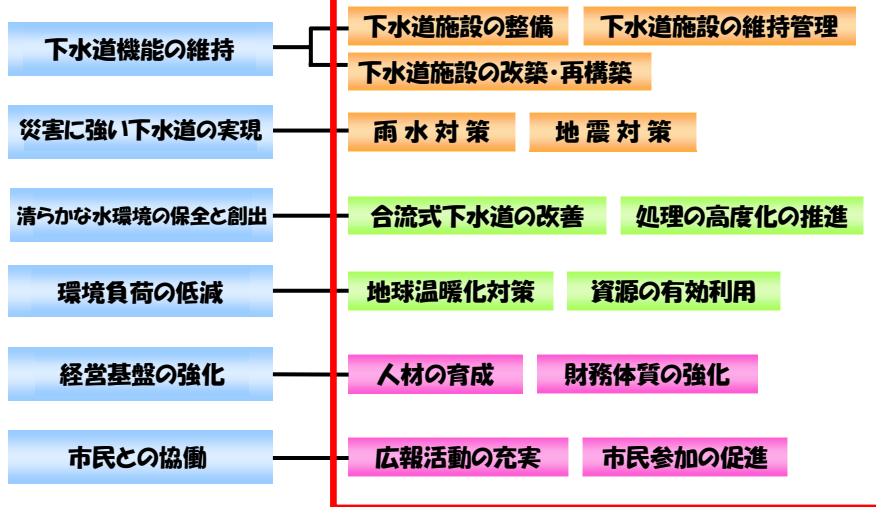
3 健全で持続可能な経営を目指します。

- ◆ 経営基盤の強化
- ◆ 市民との協働

第IV章 施策の柱

【 施策目標 】

【 施策の柱 】



主な施策の内容（1）

◆ 下水道機能の維持

- ・管路施設の状況を的確に把握・評価し、施設の状況を中長期的に予測しながら計画的・効率的に施設を管理。
- ・電気・機械設備について「長寿命化計画」を策定し、計画的に修繕・改築を実施。 など

◆ 災害に強い下水道の実現

- ・浸水危険地区における雨水拡充管の整備
- ・協働による雨水流出抑制の推進
- ・札幌市下水道地震対策緊急整備計画（仮称）の策定 など

主な施策の内容（2）

◆ 清らかな水環境の保全と創出

- ・雨天時下水活性汚泥法の導入による雨天時放流負荷の削減
- ・吐口スクリーン等の整備により、下水中のゴミ類の吐口からの流出を抑制
- ・既存施設の改良により「ステップ流入式硝化脱窒法」を導入 など

◆ 環境負荷の低減

- ・「下水道における地球温暖化防止推進計画」を策定し、数値目標及び具体的な取組内容を示します。
- ・省エネルギー設備の導入などによる温室効果ガスの削減
- ・バイオマスエネルギーの活用など新たな有効利用の検討 など

主な施策の内容（3）

◆ 経営基盤の強化

- ・ 経営実態に合わせた使用料金のあり方について検討
- ・ 効率的な業務執行体制の維持
- ・ 職員の知識と技術レベルの維持向上 など

◆ 市民との協働

- ・ パンフレットやホームページなどによる積極的な情報提供
- ・ 下水道科学館を活用し、子供達への環境教育を推進
- ・ 下水道モニター制度による情報提供と市民参加の促進
- ・ ワークショップの開催やアンケートの活用 など

第V章 進行管理

・「札幌市下水道ビジョン」の実現に向け、平成23年度に具体的な行動計画となる「**札幌市下水道事業中期経営プラン**」を策定する。

・進行管理については、「札幌市下水道中期経営プラン」において、**具体的な経営指標を設定し**、実施する。

参考資料

本文に表記される「専門用語」の**用語解説**などを掲載

今後のスケジュール（予定）

